

## 第17回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」の議事概要について

1. 開催日時：令和4年9月20日（火）10：30～12：00
2. 開催場所：TKP ガーデンシティ京都タワーホテル9階【飛雲】  
（京都府京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町721-1）
3. 委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）  
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授）  
諏訪 義雄（国立研究開発法人土木研究所 河道保全研究グループ長）web 参加  
野村 良一（立命館大学経済学部経済学科 教授）  
◎深川 良一（立命館大学理工学部 特命教授）  
◎印は委員長（50音順・敬称略）
4. オブザーバー： 滋賀県・京都府・大阪府・関西電力株式会社・阪神水道企業団

### 5. 議事概要：

委員会は委員5名全員の出席により、事務局から天ヶ瀬ダム再開発事業、大戸川ダム建設事業、川上ダム建設事業、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について、事業概要、事業進捗状況、コスト縮減項目等の説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

#### <天ヶ瀬ダム再開発事業について>

- ・今後の他ダムの再開発において、本事業の知見が活かせるよう、例えば、トンネルの構造ブロック毎に当初計画と最終形の比較や本事業の特殊性等を評価、整理を行うこと。
- ・できるだけ早期に、ダム放流時にトンネルを運用し、放流機能のモニタリングを実施すること。

#### <大戸川ダム建設事業について>

- ・放流設備の水理設計においては、出来るだけ概略設計段階から水理模型実験を実施するなど、効率的な検討を行うこと。
- ・流砂の管理については、大戸川ダムだけでなく、下流に位置する天ヶ瀬ダムや宇治川を含む上下流一体となった全体ストーリーを早期に整理したうえで検討を行うこと。

#### <川上ダム建設事業について>

- ・他事業へ知見が活かせるよう、事業費の大幅な縮減理由などについて整理すること。
- ・DX、働き方改革などの情勢を踏まえつつ、後発事業の参考になるよう川上ダムで得られた知見について整理・検討すること。

#### <丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について>

- ・特に助言なし。

（以上）